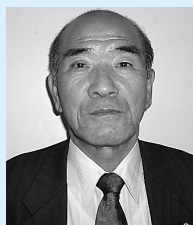
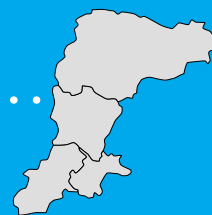


# 南丹市の誕生に向けて

合併協議に携わってこられた合併協議会委員（行政関係者を除く学識経験者）の皆さんから、南丹市に寄せる想いや希望等について、メッセージをお寄せいただきましたので、今号と次号の2回に分けてご紹介します。※順不同



うえの よしお  
**上野 嘉雄委員**  
(園部町)

## 合併して良かったと言える行政を期待

いよいよ、18年新春より、南丹市が発足することとなりました。4町合併協議委員の委嘱を受けてより、新市合併に向けて数多くの方々より貴重なご意見を賜りましたことに深く感謝を致しております。「ふるさとの未来に希望がもてるまちづくり」「4町の独自性と、特色のある自然を生かしたまちづくり」「住民福祉」の促進など、合併して良かったと言える行政の執行を期待するものであります。



たに みゆき  
**谷 幸委員**  
(八木町)

## あたたかさを感じる南丹市に

今、全国的に合併合併とさげばれている中、私、4町の合併委員として関わらせていただきました。そんな中で、各町において長い間に培われてきた政策の違いは多々ありましたが、ゆるやかな合併、対等合併を前提のもと協議されてきたところ です。小委員会の協議の中では、各町の思いを十分に意見交換し検討してきたところ です。さらに今、合併準備局行政サイドで、小委員会で声を大にして言ってきた部分を大切にしながら、細かい所について決められているところ だと思います。そうした中で、4町それぞれの地域で暮らす住民の方がふるさに誇りと希望が持てる、また、一人一人お互いが協調性を持ってあたたかさを感じる“南丹市”であってほしいと願っています。



うえはら まさよし  
**上原 正義委員**  
(美山町)

## 南丹市は次代を担う子ども達へのプレゼント

いよいよ新しい市づくりの足音が間近に聞こえてまいりました。この合併は、美山町にとりまして、大変な難産でした。でも難産した子どもほど可愛く成長が楽しみというのも親心の一つだと言われています。次世代に何を残すのか、「美しい自然」や「古き良き伝統」等々…これ然りであり、さらに大切なことは、進取の気風と新しい社会づくりに挑戦しようとする「気概」と「意欲」「実践力」であります。そうした意味からも南丹市の誕生は、次代を担う子ども達へのよきプレゼントだと思っています。地方財政が極めて厳しい中、華々しい出発ではないと思いますが、堅実であれば地味でよい、各町の良さと特長が尊重され、これが生きる新市の運営がなされれば、きっと展望が開けてきます。合併準備局の御尽力に感謝しつつ、来年1月1日を待っています。



ふじばやし よしお  
**藤林 芳朗委員**  
(日吉町)

## お互いが協力しながら“ぬくもりのあるまち”に

新生南丹市まで余すところ約4か月となってまいりました。緑と水に恵まれた自然豊かなこの地方近隣4町での合併協議が全て終わり、新市へのスタートへ向かって準備が進んでいるところであります。新市まちづくりの基本方針として、「ふるさに誇りと希望をもち、安心して暮らせる“ぬくもりのあるまち”」をキーワードに具体的な施策を目標に設定されました。この基本理念を共通の認識として、互いに協力しながら一日も早く作り上げることが必要であると思われま す。今、社会経済の状況の変化に伴い行政の守備範囲が広くなり、また多様化する住民の要望に対する対応、特に財政状況が厳しさを増す中での公共サービスのあり方の体制づくりが望まれます。不安と期待の中での新市のスタート、夢のある新しいまちづくりを期待して。